



さつま町SC事務局だより



『平成30年1月号』新年号

発行：公益社団法人さつま町シルバー人材センター ☎0996-52-3363

注)「SC」はシルバー人材センター、「県シ連」は鹿児島県シルバー人材センター連合会、「全シ協」は全国シルバー人材センター事業協議会、「高齢法」は高齢者等の雇用の安定等に関する法律の略です。

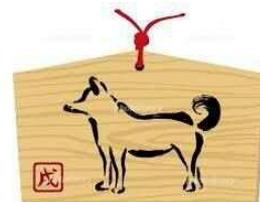
新春を迎え、お健やかな日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

会員の皆様 **今年もよろしくお願いたします**

干支の戌年は次に命を繋げるための年、また、新しい命を育む縁起の良い年とされています。

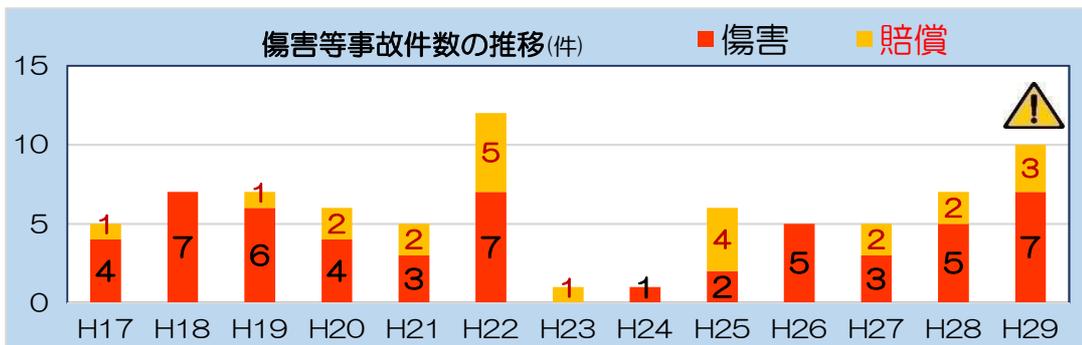
昨年、当センターはじめての第1次中期計画を策定しましたが、戌年にあやかり、計画が繋がるよう、新しい事業が育まれるよう目標達成に向けて会員、役職員の力を結集しようではありませんか。その取り組みは、必ずさつま町SCの発展に繋がるものと信じてやみません。

新年のはじめに、改めて、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づくSC、公益社団法人であるSC、特別な行政支援をいただいているSC、ゆえに高度の公共性・公益性の性格と機能を発揮しなければならないSC、その会員及び職員であることを共通認識し一緒に進みましょう。



1 今年の最重点事項 “安全就業の徹底”

新年早々明るいたよりでなく申し訳ありませんが、昨年4月からの事故件数は近年最高の10件(傷害7件、賠償3件)でした。SCには、安全適正就業推進委員会を設置し、毎年度作成する安全適正就業推進計画に基づく、就業前ミーティングと安全確認、ヘルメット着用及び安全パトロール等様々な取り組みを行っています。しかし、事故は増加という実態です。



事故は加害者、被害者ともに不幸な事態に陥るとともに、事故に関連する会員、最終的には組織の管理、運営面まで影響を及ぼすこととなります。シルバー保険料の高騰、賠償事故の免責(会員負担)追加なども影響の一つです。一番のダメージ(損害)は、SCに対する信用と信頼の失墜で、それを取り返すためには長い月日が必要です。

昨年、視察研修で大崎町SCを訪問しましたが、無事故513日を積み上げていました。しかし、その安全対策は他のSCとさして遜色ないものでした。どこが、何が違うのでしょうか。

29年度も残り2か月ちょっとあります。事故件数が記録オーバーするおそれも考えられます。このようなことから、事務局では、今年の最重点事項は安全対策であることを確認した次第です。

事務局としても、新たな具体策は持ち合わせていませんが、会員の皆さんも初心に帰っていただき考えてみてください。とにかく“安全就業の徹底”を新年の計として、会員、役職員の力(知恵)を結集して取り組みましょう。



2 今年最初の入会説明会は！

1月の入会説明会は、第3火曜日(16日)の午前9時からセンター会議室で行います。

前年度に会員会費規定を改正しましたので、1月以降の入会者の会費は次のように段階的に減額されます。入会しやすい、入会を勧めやすい条件になっていますので、知人友人に「一緒に働きましょう！」とお誘いください。

| 入会月 | 4月～12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| SC 会員会費 | 3,000 円 | 2,000 円 | 1,500 円 | 1,500 円 |
| 互助会会費 | 1,000 円 | 500 円 | 500 円 | 0 円 |
| 計 | 4,000 円 | 2,500 円 | 2,000 円 | 1,500 円 |

なお、今年も入会説明会は **毎月第3火曜日**(月の3回目の火曜日)、**9:00～センター会議室**で実施します。この内容は、町の広報紙のくらしの情報欄にも掲載してあります。

また、引き続き、会員一人一会員確保奨励事業も継続しますので、チップソー、町の指定ゴミ袋等褒賞品をゲットしてください。

3 H29 年度受託(請負)事業実績 概ね良好！ 対前年比 108%

平成 28 年度及び 29 年度受託(請負)事業の 12 月分までの契約金額の推移を比較してみました。前年度と比較して概ね良好という状況で、総額で約 726 万円上回っています。

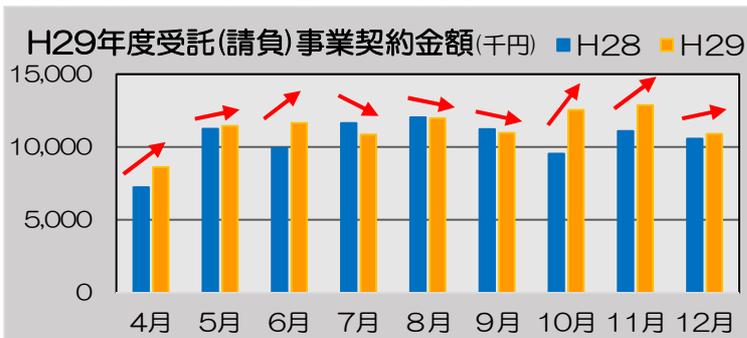
SC の主要事業は受託事業で仕事内容は除草、剪定等が大半ですが、近年は農作業の依頼が急増し、繁忙期は就業会員の確保に支障をきたし、他作業の就業会員の確保にも影響しています。

状況対策として、指揮命令系統の農作業は派遣事業へ切替えて、適正就業の確保を図っていますが、全体的な受注作業に対する就業会員の確保は、厳しい時期(5月～9月)があるのが実態です。

このようなことから、来年度は派遣事業を含めて農作業について、当面の間受注制限を行うこととしました。以前から、水稲作業のひえ取り作業はお断りしていますが、これと同じような取扱いです。

このことについては、町農政課、県北薩振興局農政関係部署とも協議しながら進めています。詳細には後もってお知らせします。

改善策の一つとして確実に言えることは、“**会員の拡大**”による体制の強化です。



4 H29 年度派遣事業実績 大きく伸びてます！ 対前年比 120%

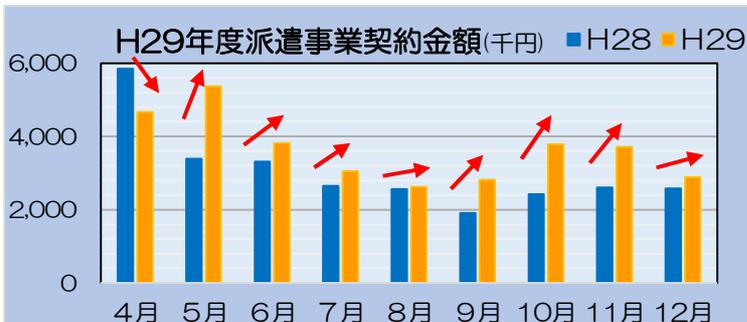
派遣事業は、対前年度、4月が約 118 万円下回りましたが、5月以降はすべて上回り、総額では約 545 万円と大きく上回っています。

派遣事業の主な業種や仕事場は、マイクロバスやワゴン車の運転業務、町クリーンセンタープラット業務、ホテル等サービス業、筍加工場、病院給食補助、酒造会社、製茶業、学童保育、ゴミ収集、車関係精密・セラミック製造工場、ストアー店員補助など多岐にわたります。

これは、社会全般における労働力不足の表れと捉えています。また、その社会状況に、当センターが対応できたという実情もあります。

その理由は、事前に社会現象や地域ニーズを見据えた講習会等を実施し、会員の拡大やスキルアップを図ったことです。いわゆる事前準備が功を制したということになります。

今後、ますます派遣事業は拡大するものと思われますので、一層の**会員拡大**と社会情勢と地域ニーズに対応でき得る**会員の資質向上**を図って参りたいと思います。



5 シルバーまごころの店 最高実績！

独自事業として実施しているシルバーまごころの店(バザー)を、12月27日(水)、プラッセだいわ駐車場で行いました。例年どおり、宮之城暮れ市の実施日に合わせましたが、好天気にも恵まれ大勢の人並みで大盛況でした。

今年度は、年度はじめから会員提供によるバザー商品がコンスタントに集まるとともに、家財等持出し処分の作業依頼も多かったことから、品数が多く多種多様でした。

その結果、平成23年度からの7回のうち、次表のとおり最高の売上げを確保しました。

「バザー」と安易に称する人もいますが、たかがバザー、されどバザーで不要品も求める方にとっては必需品になり、処分品もよみがえり世の中に役に立ちます。

商品をお寄せいただいた会員及び発注者の皆様にお礼を申し上げます。また、独自事業推進委員会の委員並びにお手伝いいただきました会員の皆様、ご苦労様でした。

| 年度 | 出品点数 | 売上額 |
|------|------------------------|----------|
| 23年度 | 約600点(野菜類が多かった) | 66,060円 |
| 24年度 | 約450点(不要品が多かった) | 99,180円 |
| 25年度 | 約551点(不要品298点、野菜類253点) | 85,207円 |
| 26年度 | 約607点(不要品255点、野菜類352点) | 116,580円 |
| 27年度 | 約622点(不要品292点、野菜類330点) | 127,715円 |
| 28年度 | 約478点(不要品225点、野菜類253点) | 106,230円 |
| 29年度 | 約907点(不要品404点、野菜類503点) | 155,925円 |



6 初の合同忘年会 盛り上がりました！

当センター初の納会研修会&大忘年会を、12月16日(土)、あび〜る館で開催しました。日高町長、平八重町議会議長及び岩元町高齢者支援課長(所管課長)をお招きし、会員の約4分の1の70名が集いました。

榊山理事長のあいさつで開会、納会研修会では、1年間の出来事や事業実績をパワーポイント(映像)で共通確認し、SC会員としての自覚と決意を共有しました。納会研修会終了後、大忘年会に移りました。町長、町議会議長の祝辞の後、新森互助会会長の発声による元気な乾杯で開宴しました。

慣れ親しんでいる会員、初顔の会員同士の談笑に、来賓、職員を交えて和やかな宴がすすむ中、会員の趣味、特技を生かした舞踊、手品、五つ太鼓、カラオケが登場し大いに盛り上げました。舞踊の時、飛び入り数十名が輪になって演じられた踊りは会員のつながりの深まりを感じました。

締めは、SC繁栄と会員のご多幸を祈念して、小椎八重常務理事の手締めでお開きとなりました。



7 会員確保とスキルアップ情～報っ！

会員以外の方にも
お知らせください。
お誘いください。



《① 清掃講習会受講生募集》 ～さつま町 SC 独自講習会～

台所、風呂、トイレ等の清掃は、対象物ごとの洗剤(中性、塩素系、酸性、エコ、クエン酸、研磨剤等)の使用や、傷つけないようにブラシ等の使い方等注意が必要です。

よって、会員からの実施要望と SC 普及啓発及び新会員確保を目的に「清掃講習会」を実施します。

- ◆主催 さつま町 SC
- ◆受講対象者 60 歳以上で SC 会員として就業希望の方(SC 入会希望者及び既存会員)
- ◆受講料及びテキスト代 **無料** ◆応募締切 **1月31日(水)**

| | | | |
|------|------------------------------|------|------------------|
| 日 程 | 2月21日(水)～22日(木) 2日間 | 会 場 | さつま町シルバー人材センター |
| 募集人員 | 20名 | 講習時間 | 9:00～16:00 6時間/日 |
| 講習内容 | 清掃、特に水回り(台所、風呂、トイレ等)を中心とした清掃 | | |
| 講 師 | 清掃業者クリーンサービス・コスモ | | |
| 準 備 | 筆記用具、弁当、飲み物、エプロン、ゴム手袋、雨靴等 | | |
| 申込み先 | さつま町 SC(Tel52-3363) | | |

《② 介護送迎従事者講習受講生募集》

～平成 29 年度高齢者活躍人材育成事業(鹿児島労働局受託事業)～

町では、介護保険事業として、生活支援体制整備事業を実施しています。これは、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現するためです。当センターも事業推進会議の構成員になっています。実際、高齢者人口と高齢化率の高まりに伴い、SC への家事支援及び要介護支援的な依頼が増えつつあります。

このような社会情勢と地域ニーズ及び新会員確保を目的に「介護送迎従事者講習」を実施します。

- ◆主催 県シ連とさつま町 SC
- ◆受講対象者 60 歳以上で SC 会員として就業希望の方(SC 入会希望者及び既存会員)
- ◆受講料及びテキスト代 **無料** ◆応募締切 **1月26日(金)**



| | | | |
|------|--|------|-------------------|
| 日 程 | 2月14日(水)～16日(金) 3日間 | 会 場 | さつま町シルバー人材センター |
| 募集人員 | 10名 | 講習時間 | 10:00～16:00 5時間/日 |
| 講習内容 | ①送迎とは ②利用者の確認と状況、高齢者の心理 ③車椅子の取扱いと管理、介護と車椅子の演習と体験 ④福祉車輛について ⑤送迎車輛を使用した送迎に関する知識 ⑥福祉車輛の実技 ⑦応急救護 | | |
| 講 師 | 鹿児島市消防局認定 運転士、介護士、介護福祉士 | | |
| 申込み先 | さつま町 SC(Tel52-3363) | | |

《③ 住民主体による地域福祉活動～「移動支援研修会」参加者募集》

地域サロンの利用者送迎や生活支援における付き添い支援など、移動手段のない高齢者の移送を含め生活支援が求められています。これにかかる従事者を確保し育成するために、移送制度に係る知識や高齢者の視点からの安全安心な運行を行うための研修会が行われます。

参加希望者は参加条件を確認のうえ、テキスト代を添えて申し込んでください。

- ◆主催 さつま町
- ◆参加条件 自動車普通免許証以上、任意保険加入、年齢の目安(概ね 74 歳以下)
- ◆受講料及びテキスト代 **1,500 円** ◆応募締切 **2月20日(火)**



| | | | |
|------|---|-----|-------------------|
| 日 時 | 3月10日(土) 9:00～12:00 | 会 場 | 特老マモリエ 1 階研修室(船木) |
| 募集人員 | 20 名程度 | | |
| 研修内容 | 制度について ①移動サービス概論 ②リスクへの備えと対応 移動支援の内容～付き添い支援について ①移動サービスの運転に必要な知識と心構え ②移動サービスの利用者を理解する 実地研修 ①福祉自動車以外の自動車を使用して行う乗降介助等の対応 *通常 8 時間かかる講習ですが短時間で行われます。 | | |
| 協 力 | 特別養護老人ホーム マモリエ | | |
| 申込み先 | さつま町役場高齢者支援課高齢者支援係(Tel53-1111、内線 2171・2172)) 申込書(住所、氏名、年齢、連絡先電話番号)の記入とテキスト代(1,500 円)の納入 | | |